

平成27年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol. 7 平成27年9月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局
(基幹相談支援センター) TEL：078-924-9155 FAX：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

前回のすまいの会のリポートでは、障害がある方の住の場についてお話ししましたが、先日、その社会資源の一つであるグループホーム（以下GH）について、従事者を対象としたアンケートを行いましたのでご報告致します。GHは、入所施設が法律の問題や社会動向により、実質的には増やすことが出来ない中、障害がある方の住の場として注目すべき社会資源です。一方で、一般の方や、福祉に従事する方でもGHに関わった事のない方は、GHの現状についてほとんどご存じないと思います。そこで、GH従事者の思いを知って頂くため、市内・近隣市のGH従事者を対象に、業務上の悩みや喜び、やりがいを尋ねるアンケートを実施しました（回答者数 53 名）。紙面の都合上、要約・抜粋という形でご報告致します。

【1】「GHの業務でのやりがい」

☆食事に関すること

「食後に『美味しかった』と言われると嬉しい」「食事を残さず『ごちそうさま』と言ってくれる」

☆利用者との会話や相談されることで、相互理解が深まること

「口数の少なかった方が、自ら挨拶され、相談に来られた時」

☆利用者の変化、成長

「繰り返しやっていくことで、自分でできることが増えていくこと」

「不安げに入居された人が、自分の生活を見つけて生き生きとされているのを見た時」

【2】「GHで働く中での疑問や悩み」

☆職場環境

・利用者への支援では、その場面で瞬時の対応が求められるが、判断に迷う時に相談する相手が居ないことや、支援について他の世話人と意見が合わないことがある、など。

☆利用者の今後

- ・高齢化とそれに伴う次の生活の場をどうするか
- ・GHをステップアップの場と考えると、自立に向けてどう支援していくか。

【3】「GHでこんなこと出来たらいいのになぁ・・・」

「GHだけの日帰り旅行」、「土日に趣味をもって生活できるように」など余暇に関する意見が多く、また、利用者の成長に繋がる支援が行える様、より段階的で自由なGHのあり方についての意見、社会的認知が上がって欲しい、スタッフの負担軽減などの意見がありました。休日の過ごし方は生活の質を高める上で大きな要素ですので、自分で選ぶ機会が少ない利用者に様々な余暇の過ごし方が提示できればと感じます。

GHは、今後重要な社会資源になることは間違いのないと思いますので、皆様に関心を持って、耳を傾けていただけたらと思っております。今年度中に開催予定の研修会では、アンケート結果をより詳しく報告致しますので、奮ってご参加くださいます様、よろしくお願い申し上げます。